

# 反戦イラク帰還兵士

日本ツアー～  
第2弾!

## 9 都市リレー証言集会



Winter Soldier  
良心の告発

# 冬の兵士

アメリカの独立戦争を戦う兵士たちが、凍てついた冬に敗走したとき、思想家トマス・ペインは訴えた。

今こそ魂が問われる時である。  
夏の兵士と日和見愛国者たちは、  
この危機を前に身をすくませ、  
祖国への奉仕から遠のくだろう。  
しかし、いま立ち向かう者たちこそ、  
人びとの愛と感謝を受ける資格を得る。

アメリカ人にとって「ウインターソルジャー」とは、  
困難に立ち向かう本当の愛国者という意味である。

### 冬の兵士

この言葉はアメリカの最も苦しいときによみがえる。  
1971年、ベトナム帰還兵たちが、この名前をつけた集会を開き  
自分たちがベトナム人虐殺をしていることを証言し、戦争終結  
に世論を導いた。

そして、「ウインターソルジャー」は再び、2008年3月13日～  
16日まで、ワシントンDC郊外で開催されることになる。  
イラクからの占領軍の即時撤退を訴えて、約50人の帰還兵が、  
住民を無差別殺戮している事実を語った。

イラク・アフガン戦争の実態を伝える証言集の邦訳「冬の兵士イラク・アフガン帰還兵が語る戦場の真実」が岩波書店から出版された。

文字による記録を読むだけでなく、生身の体験や記憶に基づいた元兵士が発する言葉に接し、証言内容の理解をしようと、反戦イラク帰還兵による「冬の兵士」8都市リレー証言集会を企画しました。

10月7日(木) 福島県文化センター小ホール

第1部 「冬の兵士」映画 13:00～14:30 「帰還兵証言集会」 14:40～16:30

第2部 「冬の兵士」映画 17:00～18:30 「帰還兵証言集会」 18:40～20:30

参加費 映画・証言通し 800円 証言のみ 500円

主催/反戦イラク帰還兵士証言集会 in 福島実行委員会

(問い合わせ) 福島県生活協同組合連合会 ☎024 (522) 5334 email: fukushima.rengokai@ma9.seikyoku.ne.jp

# 伝えるというもう一つの戦争

## 反戦イラク帰還兵の会ワシントン DC 支部長ジェフ・ミラード

「911 以降に戦地に派遣された兵士の間では周知の事実ですが、軍では人を非人間化するためハッジという言葉を使います、イラク人やアフガニスタン人に限らず、自分たち以外の人間をハッジと呼ぶ。

2005 年の夏、42 歩兵師団の作戦地域の交通管制地区で銃撃がありました。

それはイラクで毎日起きています、スピードを出して来る車があり、機関銃手が脅威と判断し、50 口径の銃弾を 200 発撃ちました、母親、父親、子供二人を殺し、男の子は 4 才、女の子は 3 才でした。夕方、將軍に対する報告会で、担当官がこの件を説明しました、その時、司令官のロシェル大佐が、部下の方を向いて、ハッジの馬鹿が運転を知っていたら、こんなクソみたいなことは起きなかった、と言った、周りは将校や下士官たちばかりで、私が一番下の階級でした、誰も抗議しません、首をかしげるものもおらず、全員がそのとおりだと思った、ハッジの馬鹿のせいで、こんなクソみたいなことが起きた、信じられませんでした、でも本当なんです、このことが忘れられませんでした。

ハッジという言葉が聞こえるたびに、あたりを見渡しました。あの射撃手は、このことを一生背おって生きていく、あの日、皆殺しにされたイラク人家族、それをロシェル大佐は考えない、こんな人種差別と非人間化が、戦争の最高司令官に始まり、最下層の兵士まで浸透している。

他の証言者のみなさん、また、表には出られないけれど、証言を寄せてくださった皆さんにお礼を申し上げます。制服を着ていた時もこれほど大きな誇りを感じたことはありません

アメリカの歴史で最高の愛国者である皆さんと一緒に証言できて光栄です」

ハッジとは、聖地であるメッカを巡礼したイスラム教徒のことで、地元の人にとっては尊敬すべき人を指す言葉です。それをアメリカ軍は軽蔑すべき人という意味で使いました。

アメリカ軍のイラク占領政策の根底には差別感情がありました。

そして、住民の人権をないがしろにしていきます。

### 冬の兵士(=winter soldier)とは

イラク戦争開戦から5年目の2008年3月、反戦イラク帰還兵の会(IVAW)がイラクからの軍の即時撤退を求めてワシントンDC近郊で証言集会を開催。約50人の帰還兵がイラクでの戦場体験を証言した。

1971年ベトナム戦争時に、「WinterSoldier(冬の兵士)」という名称の証言集会が行われた。帰還兵たちがベトナムでの残虐行為を告発し、軍の撤退を要求。

戦争終結に世論を導いたことにならい、今回の証言集会も「冬の兵士」と名付けられた。

「冬の兵士」集会では、イラクで最前線に立った兵士自らが手を下し、あるいは目撃した残虐行為を語った。アメリカで、集会は独立系放送局デモクラシー・ナウで放送されたが、大手マスコミでは報道されていない。イラク占領において米軍が罪のない民間人を虐殺した事例は、アルジャーラなどの報道や人権団体等による調査報告があるが、アメリカではほとんど一般には知られていない。

「イラクでの体験を語ることで、事実を知らない人々に戦争の真実を知らせ、占領を終わらせる」ことが、「冬の兵士」の闘いなのである。



## 反戦イラク帰還兵を日本に招き 証言集会を開催！ イラク戦争の現実について、生の 戦場体験を聞く機会となるでしょう。

反戦イラク帰還兵士証言集会 in 福島実行委員会

